公益社団法人 NEXT VISION 令和3年度事業報告書 (令和3年4月1日~令和4年3月31日)

- I. 実施事業
- 1. 視覚障害者に対する直接支援事業(公益目的事業①)
- (1) 当事者向け講座、セミナー事業

遠隔で当事者、家族、支援者への情報提供を行い、地域性による情報格差を軽減し、全 国の情報障害者を減らします。

1) ビジョンパークチャンネル

登録者数:502人

●iPhone・iPad 活用ラウンジをオンラインで開催し、動画をビジョンパークチャンネルに 公開しました。

開催日・ゲスト名・オンライン参加人数・内容

2021/4/26 ゲスト: 山賀信行 参加者 152 名

ゲストは、スクリーンリーダーユーザーがとても便利に利用しているホームページ「やまさんの森」を開発し運営管理されている山賀信行さん。

現在、NPO 法人スラッシュの副理事長として視覚障害者に ICT 機器の操作方法を指導されています。若手視覚障害者を奨励するチャレンジ賞を 2019 年に受賞され、大変ご活躍されています。今回のお話では、ホームページ「やまさんの森」やツイッターを利用するアプリ「スイートツイート」のプログラム開発の経緯から、折り紙の点訳本プロジェクト、ゲームのことなど元気の出るお話を聞くことができました。

2021/5/15 ゲスト:相羽大輔 参加者80名

ゲストは、愛知教育大学の相羽大輔さん。

ロービジョンの当事者であり、特別支援学校の教員養成に関わっておられます。

ゲームを通して、見え方に応じた工夫やアクセシビリティーの機能について紹介していた だきました。教育的意義やゲームの可能性など気づきの多いお話でした。

2021/6/28 ゲスト:若宮正子 参加者 125 名

若宮正子さんは昨年12月に続き2度目のゲストとしてお迎えしました。

世界最高齢のアプリ開発者として有名ですが、今回は「雛壇」や「七草」のゲーム開発のお話から最近楽しんでおられるゲームやVRまで生き生きと輝いておられるお話です。 Apple CEOのティム・クックとのやり取りの興味深い内容や記憶力の衰えに悩んでいる方に役立つ情報など盛りだくさんです。

2021/7/31 ゲスト:中根雅文 参加者 134 名

中根雅文さんは、現在、freee 株式会社でソフトウェアエンジニアとして御活躍です。 1998年から3年間、慶応大学大学院在籍中にWorld Wide Web Consortium (W3C)のスタッフとしてWebアクセシビリティの基盤作りに関わりました。

今回のお話では、記憶力の衰えを補うためのワンドライブや Google のサービスの活用についてお話ししていただきました。

また、協賛企業からの情報として、新型の暗所視支援メガネの紹介もあります。

2021/8/23 ゲスト:白井崇陽 参加132名

白井崇陽(しらい たかあき)さんは、バイオリニストであり、ユーチューバーやラジオ

のパーソナリティーとしても御活躍です。

今回のお話では、3歳ではしかで失明し、プロのバイオリニストとなられるまでの人生、ゲームとの出会いから広がる可能性、全盲者の動画配信の技まで多彩なお話がお聞きできました。

2021/9/18 ゲスト:野澤幸男 参加者 124名

野澤幸男(のざわ ゆきお)さんは、2年前に慶応義塾大学を卒業後、freee 株式会社に入社し、プログラマーとして活躍されています。

3歳で失明し、10歳からゲームのプログラムを作り始め、ゲームクリエーターとしても活躍されています。「Audio Game Center」という音で楽しめるゲームをメディア芸術祭に出展し注目されました。

猫をこよなく愛している野澤さん。盲学校でのゲームとの出会い。生きる力を育てた母親 とのエピソードなどお聞きすることができました。

2021/10/25 参加者 111 名

公益社団法人 NEXT VISION の情報マスターの和田浩一が、視覚障害と ICT の歴史と最近関心を持っている移動支援機器の話題をお話しました。

2021/11/22 ゲスト:望月 優 参加者 121名

株式会社アメディア 代表取締役社長の望月優さんをゲストとしてお迎えし、視覚障害者の情報と移動の課題を解決するためにテクノロジーや情報発信、移動のためのコミュニティづくりに取り組まれているお話をお聞きしました。

2021/12/27 ゲスト:井上直也 参加者 95名

質問コーナーでおなじみの井上直也さんに SNS の活用と題して、お話しをしていただきました。SNS の歴史から Twitter、facebook、Clubhouse などの特徴や楽しみ方を紹介していただきました。

2022/1/29 ゲスト: 伊敷政英 参加者 153 名

isee! Working Awards 2018 の就労事例部門でMETP 賞を受賞されている伊敷政英(いしき まさひで)さんをゲストとしてお迎えしました。視覚障害で情報障害と言わせないとの信念を持って取り組まれています。

当事者性と専門性を生かして誰もが利用できる Web アクセシビリティーをデジタル庁の非常勤職員として推進されています。

2022/2/28 ゲスト:外谷 渉 参加者 122名

今回のゲストは、第1回 isee! Working Awards の受賞者である外谷渉(そとやしょう) さんをお迎えしました。

外谷さんは全盲のシステムエンジニアとして情報セキュリティーの株式会社ラックでご活躍されています。コンピュータープログラマーを目指して現在の職場に就職されるまでの経緯や就職後の働き方などのお話をしていただきました。

2022/3/28 ゲスト: 松本一寛 参加者 133 名

今回のゲストは、YouTube の「ニポラチャンネル」でおなじみの日本ライトハウス エンジョイ! グッズサロンの松本一寛さんです。

松本さんはパソコンが得意でなかったそうですが、失明後にできなくなったとあきらめかけていたことが読み上げ機能のあるらくらくフォンが使えるようになり、目標を見出し、現在の職場に就職して活躍されるようになりました。失明して新たな出発を応援してもら

った人たちとのつながりと ICT 機器の活用のお話をお聞きください。

(総評)

コロナ禍ではリアルイベントの開催や対面での情報収集・提供が困難となりましたがコロナ禍だからこそ、視覚に障害のある方が必要とされる情報をお届けする必要があると考え、ビジョンパークでの現地開催から Zoom を使ったオンライン開催へと変更し、オンライン参加できない方がいつでも視聴できるよう、ビジョンパークチャンネルで動画を公開しました。

参加申込は200名を超えることもあり、当日は参加できなくても後日アーカイブを視聴することを目的に申し込まれた方が多かったことは想定外でしたが、本事業によりいつでも、どこからでも、何回でも視聴したいという要望にお応えできたことは良かったと思います。

居住する地域を問わない情報処方を行うことができ、スペシャルゲストによる情報提供だけでなく、さらに、参加者の個別の質問に答えるコーナーを増設し、お一人お一人のニーズに合った情報提供及びテクノロジー支援を行うことができました。

参加者は視覚障害者だけでなく、支援者やご家族も含まれていたことから、今後は医療 従事者や教育関係者も含めてより多くの方に、情報提供およびロービジョンケアに関する 理解を広めるために、得られた運営・開催方法に関する知見を活かして本事業を継続した いと考えます。

2) 研修

●NEXT VISIONセミナー

2021/12/16網膜再生医療の進展(医療従事者向け)講師:高橋政代 参加者:58 名2021/12/18網膜再生医療の進展(一般向け)講師:高橋政代 参加者:197 名

●企業向けセミナー

新型コロナ感染拡大の影響で開催できませんでした。

●研修見学

①対話力研修 Project Meme of Patch Adams 対象:神戸市民病院機構職員

2021/7/28 Patch が伝える医療者のあり方とは

2021/8/25 豊かな人生を生きるための対話力

2021/9/22 自分を知るためのメタ認知:客観と俯瞰の違い

2021/10/6 自律と心理的安全性が高まる3つの声かけ

2021/11/24 多様性理解と配慮のあり方

2021/12/22 叱る、褒めるをやめるべき理由

2022/1/26 効率的な質問力を上げる方法

2022/2/16 リーダーの資質と雑談力

②大阪医療福祉専門学校講義

021/8/24 対象:視能訓練士学科学生

●「私の見え方・見えにくさ」伝え方講座

本講座は対面での講習となり、新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

●寄り添い方講座

本講座は対面での講習となり、新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

(総評)

新型コロナ感染拡大対策のためビジョンパークにおけるセミナー開催は困難と判断し、 オンラインでの開催となりました。網膜再生医療に関する講演は医療従事者だけでなく、 患者さんからも関心の高いテーマであり、医療従事者向け、一般向けともに全国から参加 がありました。

対面によるセミナーも魅力はありますが、参加者の利便性を考えると新型コロナに関係なく、今後もオンラインによるセミナー開催は継続する価値があり、今後はハイブリッド開催を検討したいと考えます。

また、コロナ禍で疲弊している医療従事者に対して、Well-Being をテーマにしたセミナーを1年を通して開催することで、モチベーションのアップと心理的サポートを行うことができました。

コロナ禍で実習ができない視能訓練士を目指す学生に対しては、オンラインで講義を行うことで、卒業後の実践に必要な知識の習得につながったと考えます。

このようにコロナ禍であってもさまざまな立場で人々が必要とする情報や知識は変わらず存在し、コロナ禍だからこそ適時の情報提供が必要であると考えられることから、次年 度以降も必要とされるセミナーの開催を行う予定です。

(2) 当事者向け体験事業

見えない・見えにくい方を対象として、スポーツや映画鑑賞など様々な文 化体験をしてもらい、晴眼者と同じように趣味や生きがいを見つけて社会生 活を楽しむ機会を設けることで、見えない・見えにくい方の社会復帰、社会の戦力化を支援する活動等を行います。

1) e スポーツ G-1 グランプリ

ゲームのアクセシビリティ(障害者補助機能)機能の紹介や、ツール活用などの工夫・アイデアを共有し、娯楽の教育的意義を考えるイベントを実施しました。

2021/5/15 第1回 参加者:52名(うちエントリー:10名)

賞名 • 受賞者名

グランプリ作品賞 ハルト (久野陽翔) アキラ (熊澤 明) いぐぴー(井口美優)

動画公開:

Part1 エントリー動画を見てみよう!

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac1%e5%9b%9e%e3%80%80g-

1%e3%82%b0%e3%83%a9%e3%83%b3%e3%83%97%e3%83%aa%e3%80%80part1%e3%80%8c%e3%82%a8%e3%83%b3%e3%83%88%e3%83%aa%e3%83%bc%e5%8b%95%e7%94%bb%e3%82%92%e8%a6%8b%e3%81%a6%e3%81%bf/

Part2 アクセシブルなゲームジャンルランキング

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac1%e5%9b%9e%e3%80%80g-

 $\frac{1\%e3\%82\%b0\%e3\%83\%a9\%e3\%83\%b3\%e3\%83\%97\%e3\%83\%aa\%e3\%80\%80part2\%e3\%80\%8c\%e3}{882\%a2\%e3\%82\%af\%e3\%82\%bb\%e3\%82\%b7\%e3\%83\%96\%e3\%83\%ab\%e3\%81\%aa\%e3\%82\%b2\%e3}{883\%bc\%e3\%83\%a0\%e3\%82\%b8/}$

Part3 G-1 グランプリ発表!

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac1%e5%9b%9e%e3%80%80g-

 $\frac{1\%e3\%82\%b0\%e3\%83\%a9\%e3\%83\%b3\%e3\%83\%97\%e3\%83\%aa\%e7\%99\%ba\%e8\%a1\%a8\%ef\%bc\%882\%80\%8d/$

2022/2/5 第2回 参加者:47名(うちエントリー:16名)

賞名・受賞者名:

グランプリ作品賞 MM(松尾政輝)

エデュケーター作品賞 つか君&さら先生(大久保咲来、加藤東悠)

キッズ作品賞 あやか(西尾彩花)

特別作品賞 Yoshida (吉田美世)

動画公開:

Part1 エントリー動画を見てみよう! (18 歳未満の部)

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac2%e5%9b%9e%e3%80%80g-

1%e3%82%b0%e3%83%a9%e3%83%b3%e3%83%97%e3%83%aa%e3%80%80part1%e3%80%8c%e3%82%a8%e3%83%b3%e3%83%88%e3%83%aa%e3%83%bc%e5%8b%95%e7%94%bb%e3%82%92%e8%a6%8b%e3%81%a6%e3%81%bf/

Part2 エントリー動画を見てみよう! (18 歳以上の部)

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac2%e5%9b%9e%e3%80%80g-

 $\frac{1\%e3\%82\%b0\%e3\%83\%a9\%e3\%83\%b3\%e3\%83\%97\%e3\%83\%aa\%e3\%80\%80part2\%e3\%80\%8c\%e3}{882\%a8\%e3\%83\%b3\%e3\%83\%88\%e3\%83\%aa\%e3\%83\%bc\%e5\%8b\%95\%e7\%94\%bb\%e3\%82\%92\%e8}{8a6\%8b\%e3\%81\%a6\%e3\%81\%bf/}$

Part3 スペシャルトーク&G-1 グランプリ発表!

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac3%e5%9b%9e%e3%80%80g-

 $\frac{1\%e3\%82\%b0\%e3\%83\%a9\%e3\%83\%b3\%e3\%83\%97\%e3\%83\%aa\%e3\%80\%80part3\%e3\%80\%8c\%e3\%82\%b9\%e3\%83\%9a\%e3\%83\%83\%a3\%e3\%83\%ab\%e3\%83\%88\%e3\%83\%bc\%e3\%82\%afg-1\%e3\%82\%b0\%e3\%83\%a9/$

(総評)

社会処方の一環として、ゲームを通したコミュニケーションや社会参加を支援する 企画で、視覚障害者や肢体不自由の当事者たちによるアイデア集を共有することに始 まり、ゲームが持つ社会性や教育効果について当事者である教育者や当事者とゲーム のアクセシビリティ機能の現状や今後の期待などを3時間に渡り対話しました。

本企画を通して、ゲームによる障害種別を超えたコミュニケーション活性化や社会的接続強化といった社会的意義や効果について確かな手応えを感じており、今後社会的処方箋としてゲームの教育効果や社会的・心理的回復効果を検証していく予定です。次年度もeスポーツの実施、ゲームアクセシビリティの知識処方を行い、障害種別を超えた参加者による、ゲームを通した対話文化の醸成を目指します。





2) クライミング

新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

(総評)

本年度はコロナに伴い実施することはできませんでしたが、コロナが落ち着くまでは開催は難しい状態は続くと考えます。コロナの収束をただ待つのではなく、ビジョンパークの象徴であるクライミングウォールを背景として今後も運動や趣味に関わる情報発信を行えればと思っています。

3) 体幹トレーニング (オンライン開催)

2021/4/30 参加者: 42名 2021/5/28 参加者: 46名 2021/6/18 参加者: 56名 2021/7/16 参加者: 34名 2021/8/20 参加者: 44名 2021/9/17 参加者: 38名 2021/10/15 参加者: 35名 2021/11/19 参加者: 39名 2021/12/17 参加者: 37名 2022/1/28 参加者: 40名 2022/2/18 参加者: 30名 2022/3/10 参加者: 43名

(総評)

見えない、見えにくい方だけでなく、コロナ禍では外出制限やリモートワークの増加により運動の機会が減りました。ビジョンパークにおいて体幹トレーニングを対面で実施することは難しくなりましたが、オンラインを活用し画面を通して、あるいは音声のみで運動を行っていただくことができました。

床に座って行うだけでなく、イスに座ったままできるので、ご自宅だけでなくオフィスや病院の待合室など外出先からの参加者がいました。本トレーニングがコロナ禍に健康維持・管理に役立ったことは参加者からの感想や参加人数の増加と安定からわかります。今後も場所を問わず、年齢や性別に関係なく、どなたでも短時間(30分)で行える体幹トレーニングは心と体の健康維持・増進の役割を担っていきます。

4) チャレンジド・ヨガ (オンライン無料体験会)

2021/9/30 椅子ヨガ 30 分+サットサンガ(お話し会) 参加者:35 名

(総評)

コロナ禍における運動不足の解消およびお話しする交流の機会のニーズが高まったことからチャレンジド・ヨガの協力を得て、オンラインで体験会を開催しました。ヨガ未経験者も外出することなく自宅で気軽に楽しめました。

また、お話しする機会が減った視覚障害のある方に、サットサンガが好評でした。

(3) カウンセリング事業

見えない・見えにくい方の生活を多角的に支援するため、見えない・見えにくい方を対象とした座談会・相談会を開催し、社会資源の活用方法や補助具等に関する各種情報提供し、患者同士のコミュニケーションの場の提供等に取り組みました。

1)「ロービジョンの集い」の開催

内容:見えない・見えにくい当事者を中心にご家族や支援の専門家などが集まり、日常 生活での困りごとや情報の共有を行うほか、誰もが気軽に相談ができる集い の場を提供しました。

開催方法:オンライン

対象:視覚障害者、一般 全12回の総参加者数:321名

内容は下記をご覧ください。

2021/4/24 第 100 回「カミングアウトしてみる~?」参加者:190 名

 $\frac{\text{https://nextvision. or. jp/%e7\%ac\%ac100\%e5\%9b\%9e\%e3\%80\%8c\%e3\%82\%ab\%e3\%83\%9f\%e3\%88863\%82\%b0\%e3\%82\%a2\%e3\%82\%a6\%e3\%83\%88\%e3\%81\%97\%e3\%81\%a6\%e3\%81\%bf\%e3\%82\%8b\%ef\%bc\%9f\%e3\%80\%8d/$

2021/5/25 第101回「こころとからだの健康を考える集い」参加者:6名

 $\frac{\text{https://nextvision. or. jp/%e7\%ac\%ac101\%e5\%9b\%9e\%e3\%80\%8c\%e3\%81\%93\%e3\%81\%93\%e3\%82\%80\%8c\%e3\%81\%a8\%e3\%81\%8b\%e3\%82\%89\%e3\%81\%a0\%e3\%81\%ae\%e5\%81\%a5\%e5\%ba\%b7\%e3\%82\%92\%e8\%80\%83\%e3\%81\%88\%e3\%82\%8b\%e9\%9b\%86\%e3\%81\%84\%e3\%80\%8d/$

2021/6/15 第 102 回「ゆったりほっこり。心がゆるむタクティールケア」参加者:69 名

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac102%e5%9b%9e%e3%80%8c%e3%82%86%e3%81%a3%e3%81%95%e3%82%8a%e3%81%bb%e3%81%a3%e3%81%93%e3%82%8a%e3%80%82%e5%bf%83%e3%81%8c%e3%82%86%e3%82%8b%e3%82%bf%e3%82%af%e3%83%86%e3%82%a3/

2021/7/27 第103回「将来の夢や進路を考える集い」参加者:7名

 $\frac{\text{https://nextvision. or. jp/%e7\%ac\%ac103\%e5\%9b\%9e\%e3\%80\%8c\%e5\%b0\%86\%e6\%9d\%a5\%e3\%81}{1\%ae\%e5\%a4\%a2\%e3\%82\%84\%e9\%80\%b2\%e8\%b7\%af\%e3\%82\%92\%e8\%80\%83\%e3\%81\%88\%e3\%82\%8b\%e9\%9b\%86\%e3\%81\%84\%e3\%80\%8d/$

2021/8/20 第 104 回「映画館と自宅で観れる、聴ける!みんなが楽しめる映画のカタチ。」 参加者:57 名

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac104%e5%9b%9e%e3%80%8c%e6%98%a0%e7%94%bb%e9%a4%a8%e3%81%a8%e8%87%aa%e5%ae%85%e3%81%a7%e8%a6%b3%e3%82%8c%e3%82%8b%e3%80%81%e8%81%b4%e3%81%91%e3%82%8b%ef%bc%81%e3%81%bf%e3%82%93%e3%81%aa/

2021/9/28 第105「家事や趣味を楽しむ集い」参加者:6名

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac105%e5%9b%9e%e3%80%8c%e3%83%ad%e3%83%bc%e3%83%93%e3%82%b8%e3%83%a7%e3%83%b3%e3%81%ae%e9%9b%86%e3%81%84%e3%80%80%e5%ae%b6%e4%ba%8b%e3%82%84%e8%b6%a3%e5%91%b3%e3%82%92%e6%a5%bd%e3%81%97/

2021/10/23 第 106 回 ロービジョンの集い「辰巳先生、障害年金申請のポイントを教えて!」参加者:170 名

 $\frac{\text{https://nextvision. or. jp/%e7\%ac\%ac106\%e5\%9b\%9e\%e3\%80\%8c\%e3\%83\%ad\%e3\%83\%bc\%e3\%88882\%b8\%e3\%83\%a7\%e3\%83\%b3\%e3\%81\%ae\%e9\%9b\%86\%e3\%81\%84\%e3\%80\%80\%e8\%be\%b0\%e5\%b7\%b3\%e5\%85\%88\%e7\%94\%9f\%e3\%80\%81\%e9\%9a\%9c\%e5\%ae\%b3\%e5\%b9\%b4/$

2021/11/30 第 107 回「人生を語り楽しむ集い」参加者:4名

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac107%e5%9b%9e%e3%80%8c%e4%ba%ba%e7%94%9f%e3%82%92%e8%aa%9e%e3%82%8a%e6%a5%bd%e3%81%97%e3%82%80%e9%9b%86%e3%81%84%e3%80%8d/2021/12/23 第 108 回 ロービジョンの集い「小林幸一郎さんが挑み続ける 世界の

壁、岩、そして未来!」参加者:62名

 $\frac{\text{https://nextvision. or. jp/%e7\%ac\%ac108\%e5\%9b\%9e-\%e3\%83\%ad\%e3\%83\%bc\%e3\%83\%93\%e3\%}{82\%b8\%e3\%83\%a7\%e3\%83\%b3\%e3\%81\%ae\%e9\%9b\%86\%e3\%81\%84\%e3\%80\%8c\%e5\%b0\%8f\%e6\%9e\%97\%}{e5\%b9\%b8\%e4\%b8\%80\%e9\%83\%8e\%e3\%81\%95\%e3\%82\%93\%e3\%81\%8c\%e6\%8c\%91/}$

2022/1/25 第 109 回「見えない、見えにくい子どもさんを持つ親の集い」参加者:2名 https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac109%e5%9b%9e%e3%80%8c%e8%a6%8b%e3%81%88%e3%8 1%aa%e3%81%84%e3%80%81%e8%a6%8b%e3%81%88%e3%81%ab%e3%81%8f%e3%81%84%e5%ad%90%e 4%be%9b%e3%81%95%e3%82%93%e3%82%92%e6%8c%81%e3%81%a4%e8%a6%aa/

2022/2/26 第 110 回 ロービジョンの集い「遺伝(いでん)ってなに?遺伝子検査は受けた方がいいの?」参加者:159 名

https://nextvision.or.jp/%e7%ac%ac110%e5%9b%9e-%e3%83%ad%e3%83%bc%e3%83%93%e3%82%b8%e3%83%a7%e3%83%b3%e3%81%ae%e9%9b%86%e3%81%84%e3%80%8c%e9%81%ba%e4%bc%9d%ef%bc%88%e3%81%84%e3%81%a7%e3%82%93%ef%bc%89%e3%81%a3%e3%81%a6/

2022/3/29 第111回「仕事や家族のことを考える集い」参加者:5名

 $\frac{\text{https://nextvision. or. jp/%e7\%ac\%ac111\%e5\%9b\%9e\%e3\%80\%8c\%e4\%bb\%95\%e4\%ba\%8b\%e3\%82\%84\%e5\%ae\%b6\%e6\%97\%8f\%e3\%81\%ae\%e3\%81\%93\%e3\%81\%a8\%e3\%82\%92\%e8\%80\%83\%e3\%81\%88\%e33\%82\%8b\%e9\%9b\%86\%e3\%81\%84\%e3\%80\%8d/$

(総評)

コロナ禍でビジョンパークでの開催ができなくなり、2020年に引き続きオンラインにて開催しました。ビジョンパークで開催していた時には定員が10名ということもあり、参加人数が10から15名程度でしたが、オンラインに切り替えたことで参加者が増え、人数だけでなく参加者の居住地も北海道から沖縄まで全国に広がりました。

また、ロービジョンの集いは視覚障害者だけでなくその家族や友人知人が参加することが多かったのですが、就労している世代の参加は少ないのが課題でした。しかし、オンラインに切り替えたことで、職場からあるいは空き時間に参加が可能となり、「耳だけ参加」という聞くだけの参加者が出てきました。

オンライン開催となり、参加者が増えたことで本来の目的である生活での困りごとや悩みを誰もが気軽に相談ができるという雰囲気が失われてしまう可能性があったことから、奇数月は参加者を限定し、オンラインであっても話しやすい環境を作り、心理的安全性を担保しました。

コロナ禍では視覚に障害があるからこそ知りたい情報、社会の変化などテレビやラジオからは得られない情報があり、自宅や職場に居ながらにして必要な情報を得られたと喜ばれました。

2) 相談コーナーの運営

神戸アイセンターでは、「神戸アイセンター病院×ビジョンパーク連携カード」という 連携カードによって神戸アイセンター病院の医師や視能訓練士、看護師などがロービジョ ンに関する情報提供が必要と感じたときに連携カードを発行する取り組みを行っています。 今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウィルス感染拡大防止対策として、対面による 相談だけでなく、オンラインを活用した相談を行いました。

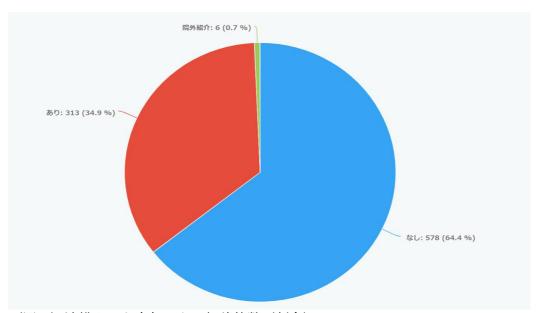
(表 1) 相談件数 (単位:件)

	2021									2022			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カードあり	26	24	29	27	17	25	25	23	32	23	31	27	309
カードなし	31	36	50	48	38	45	47	78	73	55	37	49	587
計	57	60	79	75	55	70	72	101	105	78	68	76	896

今年度の相談件数は、連携カードありの相談が 309 件、連携カードなしの相談が 587 件、合計 896 件となりました。(表 1)

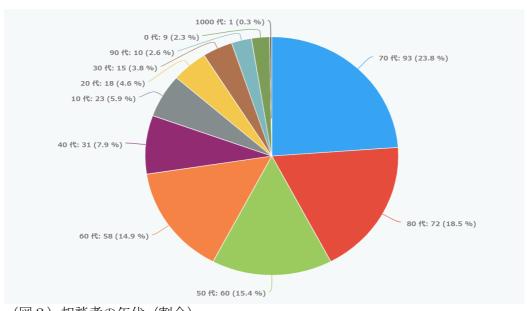
昨年は連携カードありの相談が159件、連携カードなしの相談が314件、合計473件だったので2倍近い相談件数となりました。

また、連携カードなしの相談には近隣の病院・クリニックからの紹介 6 件が含まれていました。(図1)

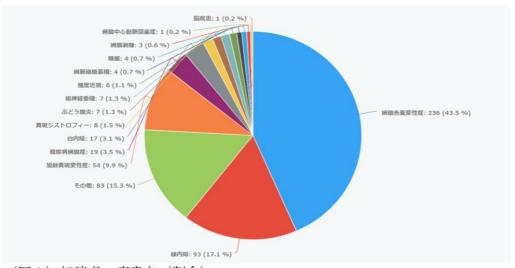


(図1) 連携カード有無による相談件数 (割合)

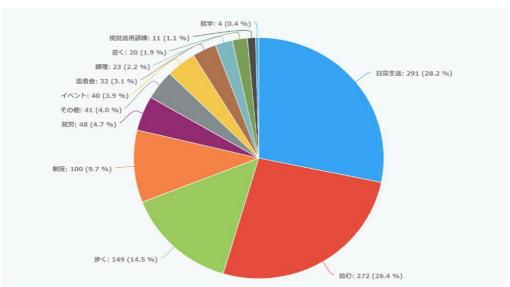
応対した相談者の年齢(図2)、疾患(図3)、相談内容(図4)、ご紹介する支援機器や用具(図5)、紹介した支援機関・団体(図6)は多岐に渡りますので図を参考にしてください。



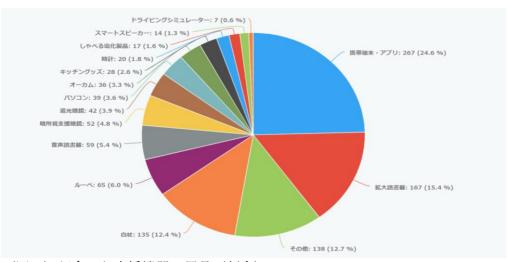
(図2) 相談者の年代(割合)



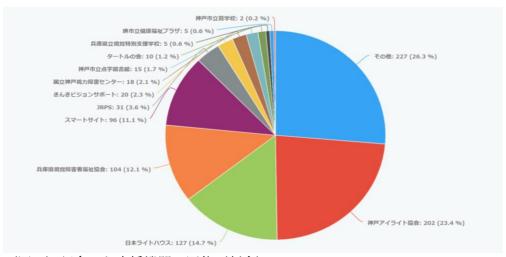
(図3) 相談者の疾患名(割合)



(図4) 相談内容(割合)



(図5)紹介した支援機器・用具(割合)



(図6)紹介した支援機関・団体(割合)

他機関・団体による相談コーナーの運営に当たっては、今年度は22の団体・機関にご協力いただき、対面とオンラインによる相談コーナー開設し、合計207回開催しました(表2)。

相談コーナー開設を予定していながらもまん延防止等重点措置により対面での相談が実施できず、また、オンライン対応にも切り替えられないことから 6 つの機関・団体がやむを得ず休止となったことで開設回数が 0 件となっています。

全体的には、相談コーナーの開設回数は前年の148件から71%増の207回となっており、対面だけでなく、電話を含むオンラインでの相談を行う機関が増えたことが理由と考えます。

団体名	実施回数
FQjapan(e-Sight体験)	0
Gラウンジ(iPhone/iPad相談)	0
アイ・コラボレーション神戸(AIスピーカー相談)	2
大阪府立大阪北視覚支援学校	0
きららの会(若年層の生活・就労相談)	1
きんきビジョンサポート(生活・就労相談)	6
神戸アイライト協会(生活・就労相談)	9
神戸市立点字図書館(生活相談・サピエ体験)	3
神戸市立盲学校(教育・就労相談)	17
神戸視力障害センター(生活・就労相談)	7
システムギアビジョン(拡大読書器体験)	5
堺市立健康福祉プラザ(生活相談)	5
視覚障害者就労相談人材バンク相談	26
障害者就労移行支援事業所サンヴィレッジ(就労相談)	0
日本ライトハウスリル・リテーションセター(生活・就労相談)	0
日本ライト ハウス情報文化センター(生活相談・サピエ体験)	23
兵庫県立視覚障害者福祉協会(生活・就労相談)	46
兵庫県立視覚特別支援学校(教育・就労相談)	7
兵庫県立点字図書館	0
兵庫盲ろう者友の会(生活相談)	3
網膜色素変性症協会(生活とピアサポート)	47
e 計	207

(表2) 支援協力機関・団体と相談コーナー開設数(単位:回)

また、今年度は日本財団様の助成金により、オンラインによるテクノロジー支援事業を 行いました。

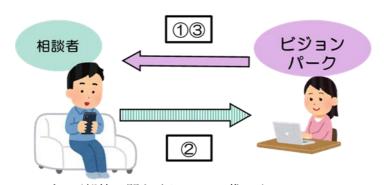
コロナ禍においては見えない、見えにくい方の外出はより一層困難となり、さらに非接触、人が集まることによる密をさけることからもリモートが推奨されました。デジタル化の流れの中で必要な情報を受け取るためにデジタルデバイスを使いこなすことが必要となり、これまでデジタルデバイスを使いこなせていなかった見えない、見えにくい方が社会生活を送ること、必要な情報を得ることが困難な状況となっていました。

そこで、私たちは見えない、見えにくい方へオンラインによるテクノロジー支援として2つの支援サービスを提供しました。

■iPad 貸し出し

iPad を 10 台準備し、見えない、見えにくい方にとって便利で必要となるであろうアプリを事前にインストールしておき、手にしたときからすぐに使用できる状態で貸し出すことでデジタルデバイスへの抵抗感・不安感を軽減しました。

また、自宅や使用する場所に Wi-Fi 等がなくてもいつでもどこでも使用できるよう通信付きにしたことで、設定のわずらわしさを解消し、使ってみたいと思えるよう心理的サポートを行いました。



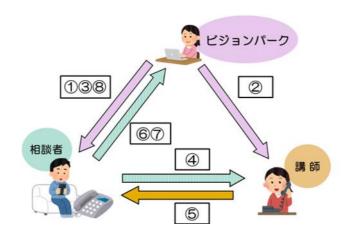
1ニーズ・要望等の聞き取り、iPad貸し出し

- 2 iPad を返却
- 3 サポート終了後の感想等聞き取りと支援機関等への誘導

■電話によるテクノロジー支援

デジタルデバイス (iPad) はすぐに使える状況であったとはいえ、初心者には使い方がわからないあるいはわかりくいため、講師による電話での講習を行いました。講師は見えないあるいは見えにくい障害を持っており、ご自身が普段からデジタルデバイスを使用されているので声だけによるサポートが可能で、利用者の困りごとに共感できるなど利点がありました。

iPad 貸し出しおよび電話によるテクノロジー支援はいずれも無料で、約1か月間を目安に体験していただき、その間にお住いの地域の視覚障害者支援施設等へ誘導し、引き続き必要な支援を継続していただけるようサポートを行いました。



- 1 相談者のニーズ・要望聞き取り、iPad貸出
- 2 講師日程調整、相談者のニーズ・要望申し送り
- 3 相談者へ講習日程、講師の名前、電話番号等を連絡
- 4 相談者は講師に電話、受講
- 5 次回の講習が必要な場合は日程調整
- 6 相談者は次回講習日程と感想・要望などを NEXT VISION に報告
- 7 iPad を借りている場合は終了後に返却

iPad の貸し出しは 53 件 (表 3)、外部講師が対応した電話によるテクノロジー支援は 111 件 (表 4)、当法人スタッフが対応した電話によるテクノロジー支援は 306 件 (表 5) でした。

2021年									2022 年	Ē.		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
2	6	8	5	6	3	5	3	4	5	2	4	53

(表3) iPad 貸し出し件数 (単位:件)

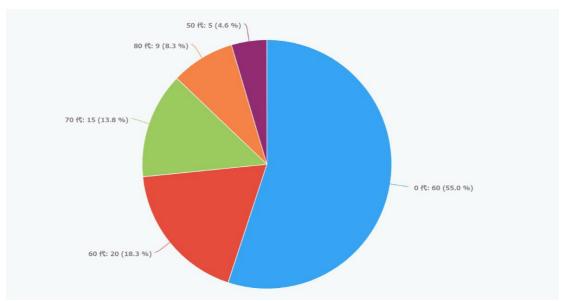
2021 출	F								2022 左	F		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
3	8	22	10	5	10	14	5	7	9	9	9	111

(表4) 電話によるテクノロジー支援(外部講師対応) (単位:件)

	5							12				
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
18	24	29	32	20	32	23	26	36	19	21	26	306

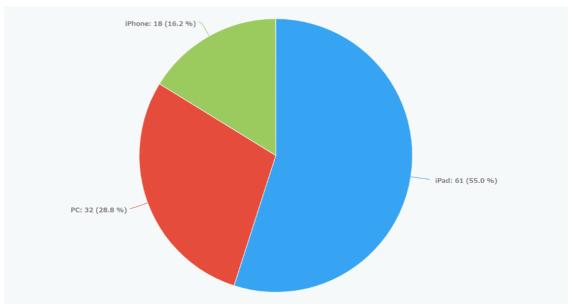
(表5) テクノロジー支援(当法人スタッフ対応) (単位:件)

テクノロジー支援受講者の年齢は 60 歳代、70 歳代が多くなっていますが、60 歳未満が全体の 55%を占めており、年代に関係なく見えない・見えにくい方はサポートを必要としていることがわかりました。(図 7)



(図7) テクノロジー支援受講者の年齢(割合)

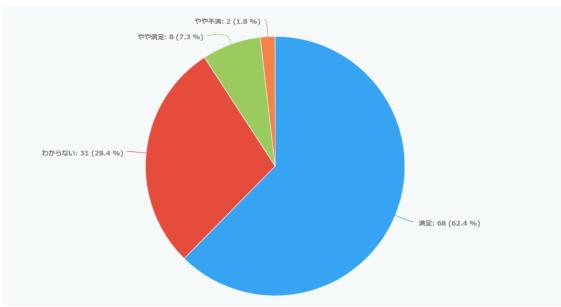
また、使用するデジタルデバイスは iPad が最も多く 61 件で、低視力の方は文字を拡大してみることができるので画面の大きな iPad を好まれること、また、iPad の貸し出しがあったのでデバイスをお持ちでない方も iPad を使用する機会が持てたのだと考えます。 (図8)



(図8) 使用するデバイス (割合)

受講された方の満足度は満足とやや満足が76件で多くの方に喜ばれている反面、わからないが31件あったことについて相談者に話を聞いてみると使いこなせるという自信につながるまでに時間を要する、操作が難しいという理由があげられ、短期間でのテクノロジ

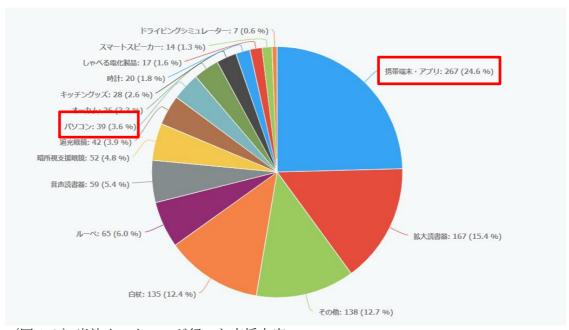
ー支援だけでは満足度をあげられないことがわかりました。(図9)



(図9) 受講者の満足度(割合)

当初、テクノロジー支援は視覚に障害のある専門講師に任せる予定でしたが、支援を必要とする方は即時の対応を求めることが多く、運営側も講師の日程調整も個別に連絡する必要があり時間を要することが多かったことから、結果的に当法人スタッフがテクノロジー支援を実施するケースが増えました。

2021 年度に当法人スタッフが行ったテクノロジー支援 306 件のうち、iPad や iPhone といったデジタルデバイスに関するサポートが最も多く 267 件、パソコンに関するサポートが 39 件でした。(図 1 0)



(図10) 当法人スタッフが行った支援内容

(総評)

相談件数および他機関による相談コーナー開設数が前年度と比較すると増えたのはオンライン対応による成果だと考えます。新型コロナウイルス感染対策に左右されず、安定的に相談を実施できるので、今後も継続していく予定です。

今後も継続が必要となる新型コロナウイルス感染拡大対策だけでなく、地震や台風などの自然災害時にも活用できるオンライン相談は遠隔診療にも応用できる可能性があります。神戸アイセンターが打ち出している眼のワンストップセンターとしての機能を持続させるためには、オンラインの活用が有効かつ必要不可欠であり、研究・治療だけでなく、ロービジョンケアが医療従事者にとってハードルの高い、難しいものであっては普及しません。いちばん重要なのはロービジョンケアが必要な患者に、必要な時につながることで、同時に医療従事者が無理をせずにできることです。

そこで、このオンラインを活用した相談システムの取り組みについては視覚障害リハビリテーション研究発表大会(2021年8月12日から9月12日、WEB開催)において発表し、治療・研究と同様に必要となるロービジョンケアの重要性をお伝えしました。

国が推奨するデジタル化の中で、自宅や職場に居ながらにして得られる情報や受けられるサービスが増えています。しかし、見えない、見えにくいという視覚に障害のある方にとって、コロナ禍においてはその恩恵を受けられないという実態が浮彫なったとも言えます。

視覚に障害があるからこそ知りたい情報、必要となる支援があり、今回私たちが行ったiPad貸し出しと電話によるテクノロジー支援はデジタルとアナログ、デジタルデバイスと人の力を融合した画期的な支援だったのではないかと考えます。

特に支援施設が少ないあるいは全くない地域、支援者の少ないあるいは全くいない、支援の行き届いていない方からは自宅や職場に居ながらにして情報を得られ、講習を受けられたことが喜ばれ、コロナ禍やお住いの地域に関係なく、最新のデバイスの情報などを滞ることなくお伝えできました。

また、受講者だけでなく講習を行った視覚に障害のある講師もまた新たな役割を担ったことでエンパワメントされ、視覚に障害があるからこそ講師として活躍することができ、さらに報酬を得ることができる就労につながったことが喜ばれました。

受講者からは晴眼の講師がいいというご要望もいただきましたが、多くの方は同じ境 遇の講師から講習を受けたことで悩みを共有できた、見えていなくても説明がわかりや すかったという感想をいただいており、双方にとってよい活動になったと考えています。

今後は iPad の無料貸し出しは継続しますが、電話によるテクノロジー支援については 有料化するなど、事業として継続する方法を検討したいと思います。また、先に述べた ように、晴眼の講師を希望される方もいることから、さまざまなタイプの講師をそろえ る必要があるとわかりました。

また、本事業の継続に当たっては相談受付方法・日程調整などを簡便なシステムを構築し、いつでも、どこでも、簡単に支援を受けられるようにすることも今後の検討事項としたいと考えます。

3) 遠隔相談

一般眼科に通院する視覚障害者に対してテレビ電話を介して情報提供に取り組みます。 本事業は、理事の仲泊が2017年度~2020年度に行なったAMED研究の一般事業化です。全 国の高額寄付者の所属する眼科医療機関に呼びかけ神戸市のふるさと納税の活用を企画しました。

(総評)

コロナ禍で培った通信技術を用いて実践可能性は高まりましたが、ふるさと納税の活用 に関しての批判もあり、価格設定が決定できず本年度における実施には至りませんでし た。この間、オンライン診療の法整備が進み、別事業を企画しているところです。

(4)研究開発事業

情報化社会が進む中で見えない・見えにくい方の生活・就労支援に寄与する最新テクノロジーに関する研究開発を行い、その成果を社会還元することにより、見えない・見えにくい方の社会復帰・社会戦力化支援に資することを目的とします。

1) ロービジョン者の運転に対する自動運転自動ブレーキの事故防止効果の研究

視野障害により、運転免許を更新可能であっても危険を伴う方が安心して運転を継続できるようなシステムを開発するために、ビジョンパークのシミュレーションエリアに常設するドライビングシミュレーターを活用して、運転体験のサポートを行いました。本事業では、トヨタモビリティ財団による研究助成を受け、株式会社ビジョンケア、井上眼科病院、筑波大学によって行われる共同研究に神戸アイセンター病院、新潟大学とともにこれに参加します。

2) 視覚ダイナミックレンジの疾患特性評価

東海光学との共同研究事業の継続として発案されていましたが、コロナ禍の経営引き締めを受け、実現できませんでした。

3) 視覚障害者の転落事故低減を目的とする電子歩行補助具の路面環境情報伝達法に関する研究

JR 西日本あんしん社会財団の研究費助成金により九州工業大学石井研究室との共同研究で、2021年8月までの事業継続となっていたものです。本年度は、当初の白杖搭載型の赤外線センサーを iPhone12の Lider センサーに置き換え、Apple Watch の振動機能を活用して、より一般的なアプリの開発を目指しました。白杖先端のさらに約50cm 前方に落ち込みがある場合だけ振動するように設定することにより、ホーム転落の危険を減少できるものと考えます。本事業は、次年度の同財団での同様の研究事業として再採択され、このアプリの有用性評価を実証する予定です。

4) 眼精疲労に対するマッサージ療法の有効性に関する探索的研究

筑波技術大学近藤宏講師・藤井亮輔名誉教授らとの共同研究で、藤井氏らの開発した眼精疲労に特化したマッサージ法による介入をビジョンパークにおいて行い、その効果判定のために介入前後の被験者情報の聞き取りを行う予定でしたが、研究費の獲得ができず中止となりました。

(総評)

研究開発事業としては、企業との共同研究契約に基づき、アカデミアとの連携のもと上記4種を企画しましたが、2)と4)については予算がつかず断念しました。1)は、神戸アイセンター病院運転外来をサポートするものでした。3)は、コロナ禍のため、被験者を用いた実験はできませんでしたが、デバイス開発に注力し、実用可能と思われるアプリを開発することができました。

2. 視覚障害者に対する間接支援事業(公益目的事業②)

(1) コンテスト事業

1) isee! "Working Awards"2022

今年で6回目となる「isee! "Working Awards"」は、「就労」に焦点をあて、視覚障害者(見えない、見えにくい人)がどのように働いているのか【事例】、また、どうすれば働けるのか、あるいはどんな働き方ができるか【アイデア】を募集しました。

応募された【事例】と【アイデア】を審査員に選んでいただき、広く社会に発信することで、視覚障害者の社会参加、就労、ひいては社会の戦力として働き、社会の損失を軽減させることを目的としています。

募集期間:2021年9月1日(水)~10月31日(日) 授賞式:2022年2月20日(日) 13:30~16:00

開催方法:Zoomによるオンライン

参加申込者数は 152 名で、当日の参加者数は 129 名 (うち受賞者 21 名、審査員 7 名、 スタッフ 7 名、一般参加者 94 名) でした。

本年の応募数は、30 件で、内訳は、事例部門が11 件、アイデア部門が19 件でした。事例部門及びアイデア部門ともに応募数が伸び悩みました。長期にわたるコロナ禍の影響が少なからず出ていると思われます。

審査の結果、事例部門の入賞が5件、事例部門の入選が4件でした。また、アイデア部門の入賞が5件、アイデア部門の入選が10件でした。

	事例部門入賞(5件)			
Νo	受賞者	種別	タイト ル	受賞名
1	大和リース株式会社 人事部インクルー	団体	『 大和リースの思いやり ハンド ブック』	MIP管
	ジョン推進室	21/4	誰もがイキイキと活躍できる企業へ	10111)
2	 小川 みぎ	個人	目が不自由でも自分で選んだ職に就こう!	MSP管
		/m /	子ども達に囲まれて保育士15年目	
3	Abdin Mohamed	個人	視覚障がい学生向けの就活ワークショップ	MSP賞
4	前北 奈津子	個人	想しみ乗り越えて。フィールド は変わっても 対人支援のブロを目指し続ける!	MEP賞
5	タート ルICTサポート ブロジェクト	団体	タート JUICTサポート ブロジェクト	METP賞
J	J P MOTON P JUJEJP	131A	視覚障害があっても 当たり 前に働ける環境を	日本眼科医会賞
	事例部門入選(4件)			
1	杉田 啓之	個人	どうして就労を継続できたのだろうか。—R P 患者としての企業人生36年—	入選
2	TZO48	団体	視力障害者が中心に運営する飲食業	入選
2	12.048	回体	TZO48(TZOフォーティーエイト)	八进
3	日本コカ・コーラ株式会社	団体	社内を超えて社会へ。視覚障害を持つ社員が自ら周囲を巻き込み、大きな周知活動	入選
	石黒 友子		IC .	
4	八巻 真哉	個人	ガム配りからの人生"医療、福祉、教育、接客から生まれたヒューマンエンジニア"	入選
	アイデア部門入賞(5件)			
Νo	受賞者	種別	タイト ル	受賞名
1	 小杉 舞奈菜	個人	「 視覚障害者ならでは」のデザイナー	価値転換賞
			~私も使いたく なる可愛い グッズ~	
2	滝浪 明莉	個人	ハンデを強みにインテリアデザイナー	価値転換賞
3	特定非営利活動法人 視覚障害者パソコン アシス	団体	無償での遠隔就労PCサポート の実施	環境整備賞
	トネットワーク(SPAN)		公的支援が受けられない視覚障害者を支援	
4	ViXion株式会社・株式会社フレアス	団体	暗所視支援眼鏡MW10の活用により考える	環境整備賞
			マッサージ業界で視覚障害者の就業・生活改善	12324 - 2 - 3 - 6
5	資生堂ジャバン株式会社	団体	強みを生かす!視覚障がい者、活躍の場の拡大へ	ビジネスブラン質
				日本眼科医会賞
	アイデア部門入選(10件)			
	山元 正史		ビアサポートにて自己肯定感の相互アップと的確な合理的配慮を目指して	入選
2	青木隆一		「触る」ことを大切にしてきた視覚障害者の強みを生かした資格「触診師」	入選
	野々垣美名子		スクリーンリーダーNVDAの解説についての紙書籍の制作と配布	入選
4	上原晋	_	点字で賞味期限やメッセージを付ける人材を	入選
	横田 歩		日が見えなくなってもいには寄り添える中途視覚障害の臨床心理士	入選
_	32.111 ± 5.		目が見えなくても四感を生かして …食の仕事…	入選
6	米川 あみ			1 28
6	米川 あみ前川 浩一		NEXT VISION「YouTube」チャンネルの開設	入選
6 7			NEXT VISION「YouTube」チャンネルの開設 メディカルビジネスカウンセラー	入選
6 7	前川 浩一 大橋 正彦	個人	NEXT VISION「YouTube」チャンネルの開設	, ,,_
6 7 8 9	前川浩一	個人	NEXT VISION「YouTube」チャンネルの開設 メディカルビジネスカウンセラー 医療と福祉の隙間を埋める先進的就労支援	入選



(総評)

新型コロナウイルスの感染が3年目と長期にわたる影響もあると思われますが、応募数の伸び悩みとなりました。応募された事例とアイデアはそれぞれ審査員から高く評価されています。企業でのインクルーシブな取り組みが広がっており、応募内容は充実しています。なお一層、本アワードの募集の周知を図り応募数の増加となるよう努めたいと思います。そして、isee! 運動を推進し、見えなくなっても社会の一員として互いに活躍できる社会を目指して取り組みたいと思います。

今年の発表・授賞式は昨年に引き続き新型コロナウイルスのため、完全オンラインで実施しました。受賞者トークでの発表内容の紹介と審査員からの講評は、参加者から好評でした。感銘を受けたとか、勇気をいただいたという声が聞かれました。オンラインの利点で全国どこからでも参加ができたことは良かったと思います。受賞者同士の交流の機会が持てなかったことが残念に感じました。

受賞者の事例及びアイデアの内容については、公益社団法人 NEXT VISION のホームページで公開し、広く社会の人々に知っていただけるように情報発信をしています。 授賞式での入賞者の発表動画も今年から掲載しました。

https://nextvision.or.jp/prizewinner-2022/

また、事例とアイデアの内容、審査員のコメントを冊子にまとめた就労事例・アイデア集を作成し、広く本事業の内容を周知させるため配布を行っています。

最後になりますが、本事業の実施に当たり、公益社団法人日本眼科医会の後援をいただき、日本眼科医会賞を選んでいただいたことに深く感謝申し上げます。

2) サンキューカードを使った周知啓発

見えない、見えにくい方の移動を多角的に支援するために正しいガイドの仕方を一般の 方に周知するとともに、一人でも多く就労・就学で困っている視覚に障害のある方を見つ けることを目的に配布しました。また、視覚に障害のある方を見つけ、必要な情報・支援 につなげる活動を見えない、見えにくい視覚に障害のある方にお手伝いいただくことで活 躍の場を広げる効果もあります。





おもて面

うら面

配布する地域は視覚障害者の活動地域となるため全国であり、昨年度に引き続き、下記団体等を通じて配布しました。

特定非営利活動法人タートル

社会福祉法人日本ライトハウス 情報文化センター

社会福祉法人日本ライトハウス リハビリテーションセンター

国立神戸視力障害センター

堺市健康福祉プラザ

兵庫県視覚障害者福祉協会

日本網膜色素変性症協会

日本視覚障害者団体連合

神戸市立盲学校

兵庫県立視覚特別支援学校

埼玉県立盲学校

岡山県立盲学校

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会

神戸市立点字図書館

非営利活動法人神戸アイライト協会

HOYA ビジョンケアカンパニー

株式会社システムギアビジョン

株式会社尼崎眼鏡院

HOT POT の会

三輪書店(「ポイントマスターロービジョンケア外来ノート」に付属)

(総評)

支えられる側であった視覚障害者が、サンキューカードを配布することで視機能に不安や障害を持つ人を掘り起こし、情報を伝えるといった新たな役割を担うことになりました。また、カードを配布された一般の方にとっては、視覚障害者への声のかけ方や手引きの仕方を知る機会となり、社会貢献の一助となる可能性が生まれたと考えます。

また、本事業については、2022年7月15日(金)~17日(日)に開催される視覚障害リハビリテーション研究発表大会(名古屋市)にて活動報告を行う予定です。

3) 匠の時間(たくみのとき)

あん摩マッサージ指圧の啓発とその技能の発展を目的として、ビジョンパークにおいて 一枝のゆめ財団が過去 2 回行ったコンテストの優勝者および入賞者を招待し、一般参加者 に対しての施術を行うとともに、藤井亮輔氏の講演を企画する予定でした。

(総評)

コロナ禍による接触を避けるため、また、資金的理由で中止となりました。

(5) 講演・セミナー事業

1)被災視覚障害者支援・避難所疑似体験セミナー

視覚障害者の防災と視覚障害者の周囲における支援情報を増やすため、ビジョンパークを疑似避難所に見立て、理事の仲泊が 2018 年度~2020 年度の AMED 研究で行なった遠隔支援デバイスを使用した避難所体験セミナーでしたが、コロナ禍による接触を避けるため、延期となりました。

2) 行間セミナーBasic

「ポイントマスター!ロービジョンケア外来ノート」を所有している人を対象として、 出版社の15万円の協賛で、これをテキストとしたwebセミナーを6月から3月までの毎月 1回行いました。本テキストを執筆した者を講師として、10分程度の講演3本をzoom及び YouTubeで無料配信しました。毎回80名程度のライブ参加でしたが、YouTubeの延べ閲覧 数は、10000回を超えました。

3) 行間セミナーAdvanced

「ポイントマスター!ロービジョンケア外来ノート」の執筆者により企画された関連セミナーを行間セミナーBasic に続けて毎回配信しました。また、NEXT VISIONのホームページ特設サイトにて会員限定で動画配信を行いました。ライブ参加は80名程度でしたが、年間5000円の有料にもかかわらず、210名の会員を得ることができました。

4) ロービジョン支援ホームページの運用

NEXT VISION のサーバー上に移設したロービジョンケアの用語説明と施設リンクを目的としたホームページ (https://www.shikakuriha.net) の改修を行い、NEXT VISION のホームページからも入れるようにしました。また、3月に行なった行間セミナーでその使用法

について解説しました。2022年3月までに21949件(2021年3月までに19800件)のアクセスがありました。

5) 日本眼科医会連携

地方においては視覚障害者が最初に受診する可能性が高いのは地域の眼科クリニックであり、全国の眼科クリニックの開業医が所属する日本眼科医会と連携しました。

isee! Working Awards での眼科医会賞の追加や日本眼科医会の HP と連携などを通して開業医の眼科医への情報発信を強める予定です。

6) 視覚障害者体験 VR 研修

視覚障害者が周囲の人に自分が視覚障害者であり困難さを的確に伝えられない背景には、視覚障害の種類や困難さの多様性を周囲のメンバーが認識しにくい背景があります。 VR を利用した教育コンテンツでは1人称で困難さを理解することができるため、支援者教育の強力なコンテンツとなり得るため、VR コンテンツの開発の指導を行い、教育ソフトを開発しました。今後リアルな研修が開催できる時期がきたら、研修コンテンツとして導入予定です。

(6) 支援者向け体験事業

1) パッチ・アダムス招致企画 夢の病院からビジョンパークができるまで 豊かに生きるための知識と習慣の処方箋として、人生100年時代を人が健やかに生 きるため、心と体がウェルビーイング(ご機嫌)になるための考え方や行動習慣などを ウェルビーイングを実践する専門家に学び、対話を通して学ぶイベントを実施しまし た

■プレ・マンスリーイベント

2021/9/18 (土) 山元加津子 (作家・映画監督)

2021/10/16(土)パッチ・アダムス(医師)

2021/11/20(土) 髙橋政代(株式会社ビジョンケア代表取締役社長・眼科医)

2021/12/15 (水) 加藤忠相 (株式会社あおいけあ 代表取締役社長)

2022/1/22(土) 金本麻理子(株式会社 OFIICE NEXT 代表、Clown one Japan 代表)

2022/2/26 (土) 三宅 琢 (株式会社 Studio Gift Hands 代表取締役、医師)

2022/3/13(日)福本理恵(株式会社 SPACE 代表)

参加人数:435人/全7回

■本イベント

2022年3月20日(日)

9:00-12:00 "I Love Me" からはじめよう!

パッチ・アダムス

13:00-15:00 自立を育てる教育と未来医療のあり方

工藤勇一(横浜創英中学・高等学校校長)

髙橋政代(株式会社ビジョンケア代表取締役社長・眼科医)

15:30-16:30 グループトーク

参加人数:162人 ※動画は限定公開











(総評)

教育、医療、介護の分野を超えた実践家たちとの対話を通じて多面的な観点によるウェルビーイングの解釈と言語化を実現することができ、今後 NEXT VISION が進むべき方向性と具体的なアクションプランを明確に描くことができました。

また、本イベントを通じてつながった有識者たちと強い絆が生まれたことで、今後協業が可能となり情報障害者をゼロにする世界と SDGs を実現した社会の実現にむけた NEXT VISION としての効果指標を考える上での多くの知見を得ることができました。

次年度以降も、パッチ・アダムスの哲学にケアの本質と対話法を学ぶオンライン形式でのワークショップを開催し、支援マインドの向上、対話スキルの向上、さらにはNEXT VISIONの認知向上を目指します。

2) TEAM EXP02025 共創チャレンジ企画 Navilens によるスーパーシティ化大作戦 ナビレンスやコード化点字ブロック、shikAI など主に点字ブロックに情報を付加する 二次元コード設置の検討(実証実験)と普及する活動を開始しました。

これらの二次元コードは白杖および点字ブロックと併用することで安全、便利に使用でき、視覚に障害のある方だけでなく誰もが利用可能なルート案内等の情報提供が可能で、二次元コードの総称をナビゲーション・タグ(通称ナビ・タグ)と呼び、2025 大阪・関西万博での運用を目指しています。

そこで、TEAM EXPO2025 共創チャレンジにプロジェクト名「ナビゲーション・タグ (ナビ・タグ) で未来を変えるプロジェクト」で登録しました。



現在、10機関・団体、24名のメンバーがチーム 0TAGAISAMA(おたがいさま)として活動しています。

2021年度はナビ・タグ評価(属性ごとの使いやすさ、課題抽出など)を行うため、ナビ・タグの敷設を行いました。





ナビ・タグ評価のための実証実験は神戸アイセンターのほか、ポートライナー・三ノ宮駅と医療センター駅、神戸市営地下鉄などでも実施しました。

また、2021年11月13日(土)に神戸青少年科学館で開催されたサイエンス・フェスティバルではナビ・タグを使用したスタンプラリーを開催し、一般市民へのナビ・タグの周知啓発活動を行いました。



(総評)

2021年度はナビ・タグを神戸市内30か所に敷設することを目標にしていましたがナビレンスを神戸アイセンター内に40枚、ポートライナー・三ノ宮駅と医療センター駅、神戸市営地下鉄にも計80枚を敷設でき、目標を達成することができました。

しかし、コード化点字ブロック、shikAI がまだ敷設できていないので2022年度前半に敷設し、実証実験を継続する予定です。また、並行してナビ・タグ設置ガイドライン作成し、課題の抽出と解決に取り組みます。

同時に、まだ一般的に知られていないナビ・タグを周知し、視覚に障害のある方だけでなく、一般市民にも実際に使ってもらって便利さを実感していただけるように普及を進めたいと思います。

大阪・関西万博(2025年4月13日~10月13日)での実装を目指していますが、それが最終ゴールではなく、社会インフラとして神戸市をはじめ、日本国内に定着するよう、助成金や補助金を取得しながら活動を継続します。

3. 収益事業

(1) ビジョンパークを活かした情報発信

本事業は新型コロナ感染拡大対策のため行うことができませんでした。今後も状況をみながらの実施になる予定です。

(2) みんなで作るビジョンパーク会議

寄附者、賛助会員、連携協力機関の方への活動報告と意見交換会をオンラインで実施しました。

2021/12/12 大感謝祭 2021 参加人数:42名

(内容)活動報告(報告書・記念品を送付)

グループトーク(参加者による交流・意見交換会)

(総評)

寄附者、サポーター、賛助会員に NEXT VISION で実施している事業、活動内容を報告すると共に、支援者が「自分事」として活動に参加していただけるよう、グループトークを通じた情報交換ができました。

また、寄附者へのお礼方法を検討する必要があると考えており、高額寄附者には三宅養三代表理事とのオンラインでの面談を行い、直接お話できたことを寄附者に喜ばれました。今後も NEXT VISION の活動やビジョンパークの役割を理解し、支援をいただけるよう情報を発信し続けることで法人の運営を安定させ、より多くの視覚に障害のある方と情報を必要とする方への支援活動を行いたいと思います。

Ⅱ. 法人運営

1. 理事会

第19回 令和3年6月4日

議題

- 1. 令和2年度の事業報告及び計算書類の承認
- 2. 社員総会の招集と議案等の承認
- 3. 若宮正子氏理事就任の承認
- 4. 竹中夏実氏理事就任の承認
- 5. 原田敦史氏理事就任の承認
- 6. 理事の任期満了に伴う後任者選任の承認

第20回 令和4年3月6日

議題

- 1. 令和4年度の事業計画及び収支予算・資金調達及び設備投資の見込を記載した書類の承認
- 2. 社員総会の招集と議案等の承認
- 3. 職務の執行状況について報告
- 4. 中邑理事の辞任について報告

2. 社員総会

第17回 令和3年6月20日

議題

- 1. 令和2年度の事業報告及び計算書類の承認
- 2. 社員総会の招集と議案等の承認
- 3. 若宮正子氏理事就任の承認
- 4. 竹中夏実氏理事就任の承認
- 5. 原田敦史氏理事就任の承認
- 6. 理事の任期満了に伴う後任者選任の承認

第18回 令和4年3月6日

議題

- 1. 令和4年度の事業計画及び収支予算・資金調達及び設備投資の見込を記載した書類の承認
- 2. 中邑理事の辞任について承認